

# 第7回デフリンピック運営委員会 議事次第

日時：2024年5月27日 15:00～17:00

場所：戸山サンライズ 2階 大会議室

1. 委員長挨拶
2. 運営委員の辞任および就任について
3. 議題
  - (1) 2024年度デフリンピックフェスティバルについて
4. 報告
  - (1) 2023年度デフリンピックフェスティバル実施報告
  - (2) 2024年度利益相反管理研修及びコンプライアンス研修の実施について
  - (3) 情報公開審査会の開催および委員長決定について
  - (4) 社会的・文化的プログラムについて
  - (5) デフリンピックスクエアについて

## デフリンピック運営委員会 運営委員名簿

五十音順

氏 名	現 職
いしはら やすし 石原 保志	国立大学法人 筑波技術大学 学長
えんよ かつら 延與 桂	公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会 会長
おおた ようすけ 太田 陽介	一般財団法人全日本ろうあ連盟 理事（スポーツ委員会委員長）
はたなか じゅんこ 畑中 淳子	弁護士
はやせ くみ 早瀬 久美	デフリンピック選手
ひさまつ みつじ 久松 三二	一般財団法人全日本ろうあ連盟 常任理事（事務局長）
ふるや るみ 古屋 留美	東京都生活文化スポーツ局長
やくしじ みちよ 薬師寺 道代	医師

# 3. 議題（1）2024年度デフリンピック・フェスティバルについて

## ○ 目的

デフリンピックやデフスポーツへの関心を高め、認知の向上、および来る 2025 デフリンピック大会に向けて全国の気運醸成を図る

## ○ 2024年度の開催方針・実施個所

- ・ 2023年度の実施形態は、単独主催が4か所、他のイベントと組み合わせた合同主催が3カ所であった。合同主催の方が、手話やデフスポーツにあまり触れたことのない層への周知につなげることができ、不特定多数の人が集まるイベントでの開催方式が有効であると考えられる。
- ・ 2024年度は今までデフスポーツやデフリンピックに関心がなかった層および子どもたちの目に触れる機会を増やすこと、そしてデフアスリートやデフ競技についてより一層周知を図ることを狙いとする。
- ・ 大規模集客施設でのイベント実施や自治体または民間の大規模集客イベントに組み入れる形で、全国で8か所実施する。
- ・ 開催候補地は、福島県、東京都、埼玉県、神奈川県、愛知県、京都府、他は調整中
- ・ 開催にあたり、運営委員会はその取り組みを後押しする為、2023年度同様に地域ろう当事者団体に対し、1か所10万円を上限に助成を行う。
- ・ イベントで配布する啓発物の作成および掲示物の作成にあたっては、運営委員会が協力する。

## ○ 助成要件

- ・ 大会ビジョンにある「あらゆる人が協働」、「子どもの参画」、「デフスポーツやろう者の文化への理解を促進」、「共生社会づくりに貢献」等に留意し、デフリンピックやデフスポーツについて関心や認知度の向上を図り、デフリンピックの気運醸成に資するもの
- ・ 実施主体が、地域ろう当事者団体と地域行政や関係機関との共催、もしくは地域ろう当事者団体主催、地域行政後援

## ○ 対象とする経費

諸謝金、旅費、借損料、印刷製本費、消耗品費、通信運搬費、雑役務費、保険料、委託料

## ○ 助成金額

10万円（上限）

※本助成金に加え、他の補助金や参加費等の収入がある場合で、収入額が支出額を超過した場合は、超過した金額を差し引いて助成するものとする。

## ○ 助成承認手続き

開催要項、予算案を運営委員会事務局にて審査

## 4. 報告（1）2023年度デフリンピック・フェスティバル実施報告

### ○ 目的

デフリンピックやデフスポーツへの関心を高め、認知の向上、および来る 2025 デフリンピック大会に向けて全国の気運醸成を図る

### ○ 実施個所・開催方法

- ・全国7ブロック（北海道、東北、関東、東海、近畿、中国・四国、九州）にて各1カ所開催。
- ・きこえない人ときこえる人の協働を通じた共生社会やつながりの実現を具体化するため、実施主体は地域ろう当事者団体と地域行政や関係機関との共催、もしくは地域ろう当事者団体主催、地域行政の後援等の形を基本とした。
- ・運営委員会はその取り組みを後押しする為、地域ろう当事者団体へ1カ所上限10万円の助成を行った。

### ○ 助成要件

- ・大会ビジョンにある「あらゆる人が協働」、「子どもの参画」、「デフスポーツやろう者の文化への理解を促進」、「共生社会づくりに貢献」等に留意し、デフリンピックやデフスポーツについて関心や認知度の向上を図り、デフリンピックの気運醸成に資するもの
- ・実施主体が、地域ろう当事者団体と地域行政や関係機関との共催、もしくは地域ろう当事者団体主催、地域行政後援

### ○ 対象とする経費

諸謝金、旅費、借損料、印刷製本費、消耗品費、通信運搬費、雑役務費、保険料、委託料

### ○ 助成金額

10万円（上限）

※本助成金に加え、他の補助金や参加費等の収入がある場合で、収入額が支出額を超過した場合は、超過した金額を差し引いて助成するものとする。

### ○ 助成承認手続き

開催要項、予算案、決算報告、証憑書類を運営委員会事務局にて審査

# 実施状況等一覧

ブロック/開催地	開催規模、内容	収支		主催者・連携先
①北海道ブロック 札幌市（北海道）  デフリンピック・フェスティバルinほっかいどう	○11月3日（祝） ○会場：東区民センター ○参加者：市民101名 ○内容：啓発映画上映、講演、パネルディスカッション（パラリンピアン、デフリンピアン）	総事業費 179,081円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象経費 121,705円</li> <li>  旅費 88,570円</li> <li>  会場費 26,240円</li> <li>  他 6,895円</li> <li>・対象外経費 57,376円</li> <li>  諸謝金 22,276円</li> <li>  他 35,100円</li> </ul>	<b>公益社団法人北海道ろうあ連盟</b> ○後援・協力：北海道、北海道教委育委員会、北海道障がい者スポーツ協会、デフ競技団体等
		収入	<ul style="list-style-type: none"> <li>助成金 100,000円</li> <li>参加費等 79,081円</li> </ul>	
②東北ブロック いわき市（福島県）  デフリンピック・フェスティバル	○11月12日（日） ○会場：いわきFCパーク ○参加者：小学生32名 ○内容：かんたん手話講座	総事業費 91,624円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象経費 86,770円</li> <li>  旅費 57,870円</li> <li>  諸謝金 21,000円</li> <li>  他 7,900円</li> <li>・対象外経費 4,854円</li> <li>  消耗品費等 4,854円</li> </ul>	<b>一般社団法人福島県聴覚障害者協会</b> ○共催：福島県 ○協力：いわきFC、日本ろう者サッカー協会、日本ブラインドサッカー協会
		収入	<ul style="list-style-type: none"> <li>助成金 86,770円</li> <li>自己資金 4,854円</li> </ul>	
③関東ブロック 横浜市（神奈川県）  デフリンピック・フェスティバルinかながわ	○3月20日（祝） ○会場：新都市プラザ ○参加者：市民のべ約500名 ○内容：アスリートトークショー、手話講座、UDダンス、PRブース	総事業費 100,519円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象経費 99,419円</li> <li>  旅費 25,004円</li> <li>  諸謝金 41,400円</li> <li>  他 33,015円</li> <li>・対象外経費 1,100円</li> <li>  消耗品費 1,100円</li> </ul>	<b>神奈川県聴覚障害者連盟</b> ○共催：神奈川県
		収入	<ul style="list-style-type: none"> <li>助成金 99,419円</li> <li>自己資金 1,100円</li> </ul>	
④東海ブロック 伊豆市（静岡県）  デフリンピック・フェスティバルin東海	○10月22日（日） ○会場：サイクルスポーツセンター ○参加者：ジャパンマウンテンバイクカップ2023観客約500名 ○内容：デフリンピック啓発ブース、自転車競技写真展、PRグッズ配布	総事業費 114,600円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象経費 114,600円</li> <li>  旅費 18,140円</li> <li>  印刷製本費 81,695円</li> <li>  他 14,765円</li> </ul>	<b>東海聴覚障害者連盟</b> ○連携：ジャパンマウンテンバイクカップ実行委員会（共催：静岡県、協力静岡県聴覚障害者協会等）
		収入	<ul style="list-style-type: none"> <li>助成金 100,000円</li> <li>自己資金 14,600円</li> </ul>	

# 実施状況等一覧

ブロック/開催地	開催規模、内容	収支		主催者・連携先
⑤北信越ブロック 石川県	石川県及び北信越ブロックとして、能登半島地震の被災者支援に注力するため、フェスティバルの開催なし			
⑥近畿ブロック 大阪市（大阪府）  デフリンピック・フェスティバルinおおさか	○3月20日（祝） ○参加者：市民319名 ○内容：デフアスリート紹介、デフリンピッククイズ、記念講演、福引	総事業費 622,887円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象経費 565,223円</li> <li>  旅費 146,220円</li> <li>  諸謝金 326,000円</li> <li>  印刷費 32,770円</li> <li>  他 60,233円</li> </ul>	<b>近畿ろうあ連盟</b> ○主管：大阪聴力障害者協会
		収入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象外経費 57,664円</li> <li>  飲食代 24,586円</li> <li>  景品代 33,078円</li> </ul> 助成金 0円 参加費 638,000円	
⑦中・四国ブロック 境港市（鳥取県）  デフリンピック・フェスティバルin鳥取	○3月23日（土） ○参加者：市民約200名 ○内容：啓発映画上映、パネルディスカッション、ミニ手話講座、2025デフリンピック大会PR及び決意表明	総事業費 172,745円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象経費 142,745円</li> <li>  印刷費 97,280円</li> <li>  通信運搬費 41,241円</li> <li>  他 4,224円</li> </ul>	<b>鳥取県聴覚障害者協会</b> ○共催：鳥取県、境港市 ○後援・協力：鳥取県議会、境港市議会、鳥取県教育委員会、境港市教育委員会、鳥取県社会福祉協議会、境港市社会福祉協議会、中国地区ろうあ連盟、四国ろうあ連盟、等
		収入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象外経費 30,000円</li> <li>  旅費 30,000円</li> </ul> 助成額 100,000円 自己資金 72,745円	
⑧九州ブロック 春日市（福岡県）  デフリンピック・フェスティバルin九州	○11月5日（日） ○会場：クローバープラザ ○参加者：市民160名 ○内容：啓発映画上映、講演（デフアスリート）、デフアスリート交流・体験会	総事業費 180,300円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象経費 139,859円</li> <li>  情報保障費 52,000円</li> <li>  会場費 46,360円</li> <li>  旅費 15,920円</li> <li>  他 1,058円</li> </ul>	<b>社会福祉法人福岡県聴覚障害者協会</b> ○主管：福岡県ろうあ者スポーツ委員会 ○後援・協力：福岡県、九州聴覚障害者団体連合会
		収入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象外経費 40,441円</li> <li>  上映協力金 35,100円</li> <li>  他 5,341円</li> </ul> 助成額 100,000円 参加費等収入 80,300円	

## 4. 報告（2）2024年度利益相反管理研修及びコンプライアンス研修の実施について

全日本ろうあ連盟の理事・監事及びデフリンピック運営委員会の役職員を対象に、以下研修を実施する。

研修名	目的	時期	研修内容
コンプライアンス研修	コンプライアンス（法令遵守）を推進し、役職員の規範意識の向上を図る。	4月 (実施済)	○スポーツ文化事業団との合同研修 ・テーマは「ガバナンスの基本的枠組み」と「ろう者の文化の理解促進」
		10月	○法令遵守するための規範意識向上を図る。 ・国際スポーツ大会におけるコンプライアンス（国の指針、都のガイドライン）について ・情報公開について ・コンプライアンス通信の発行 ・チェックリストを用いた自己点検
利益相反管理研修	利益相反管理体制と役職員が遵守すべきルールの理解促進を図る。	7月	○利益相反管理のため新たに制定した規程や仕組みについて周知徹底し、職員が遵守すべきルールの理解を図る。 ・利益相反管理規程について ・利益相反管理について ・事例研修 ・申告書、チェックシートの書き方について

## 4. 報告（3）第1回目情報公開審査会について

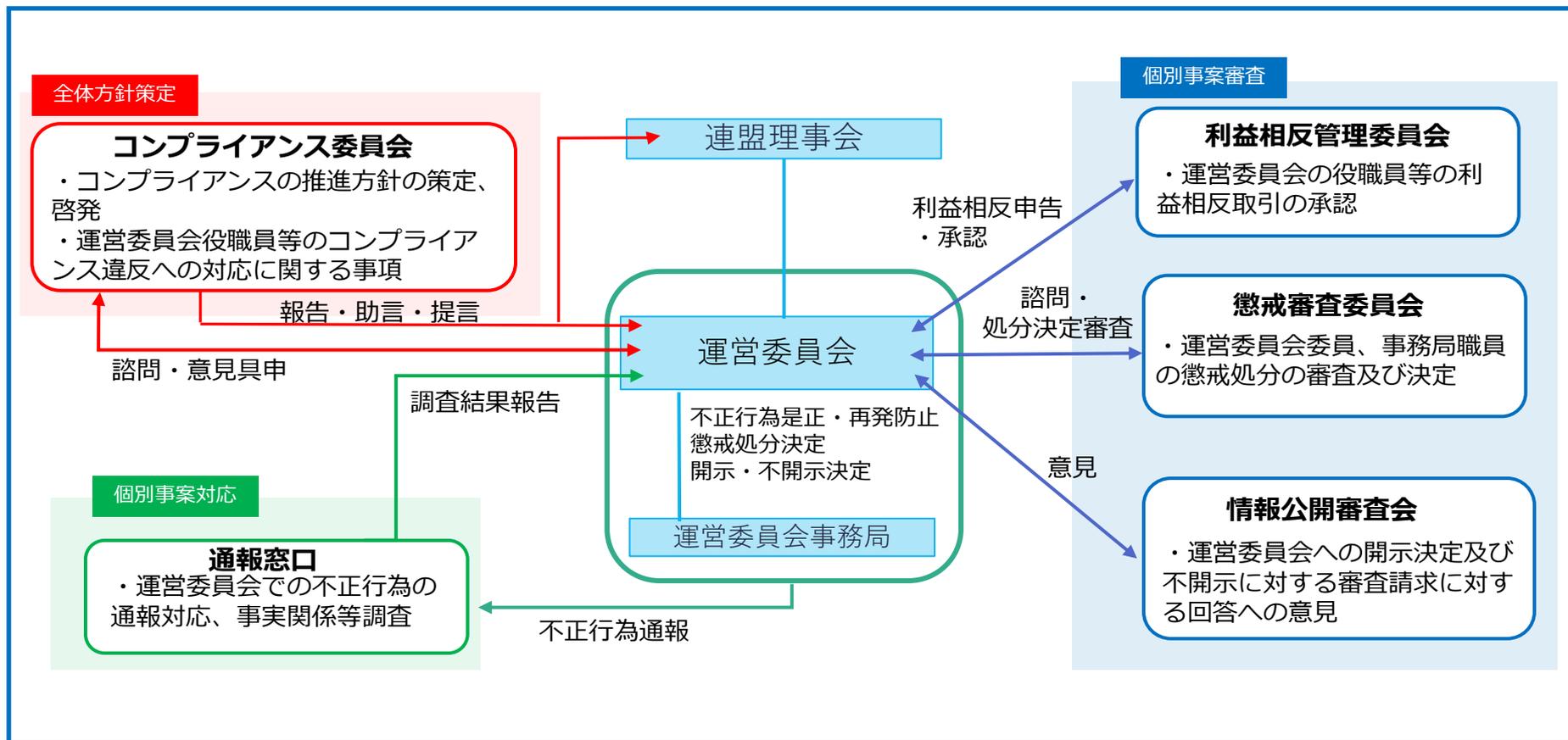
- 情報公開審査会は、情報公開規程第18条第1項に規定する開示決定及び不開示決定等に関する審査請求があった時の第18条4項に規定する回答に係る決定についての意見の答申を行う  
(情報公開審査会設置要綱 第2条)
- 令和6年4月19日（金） 第1回情報公開審査会を開催  
  
主な審議事項は以下のとおり
  - ・ 委員長の選任  
(情報公開審査会設置要綱第6条による  
「審査会に委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。」と規定)
  - ・ 情報公開審査会の位置づけと役割についての確認
- 今後は、「審査請求」があった際に開催

### 情報公開審査会 委員

	氏名	役職等
委員長	上嶋 太	前 長野県聴覚障害者情報センター所長 社会福祉法人長野県聴覚障害者協会事務長
	斎藤 雅司	元 埼玉県立総合教育センター副所長 社会福祉法人埼玉聴覚障害者福社会理事
	野村 茂樹	弁護士

# (参考) 運営委員会 諸委員会体制図

- スポーツ庁の「大規模な国際又は国内競技大会の組織委員会等のガバナンス体制等の在り方に関する指針」及び、東京都の「国際スポーツ大会への東京都の関与のガイドライン」を踏まえ、「コンプライアンス委員会」、「利益相反管理委員会」、「懲戒審査委員会」、「情報公開審査会」、「内部通報窓口」を設置



## 4. 報告（4）社会的・文化的プログラムについて

### 1) 社会的・文化的プログラムの検討

- デフリンピック規約（DG29宿泊施設及び詳細）により、選手やその他大会を訪れる関係者等が、開催都市の社会的・文化的プログラムを含むレクリエーションプログラムを利用できるようにするとされている
- 2023年度は、大会に向けての取組として、きこえない芸術文化団体や外部有識者等で構成する検討チームを立ち上げ、検討を進めてきた
- 検討チーム リーダー：植野 圭哉（千葉県聴覚障害者協会理事長／全日本ろう者演劇協会前事務局長）  
委員：椎名 志津子（NPOシアター・アクセシビリティ・ネットワーク監事）  
那須 善子（手話読み聞かせグループ たま手ばこ代表）  
齊藤 裕美（日本財団公益事業部審査チーム リーダー）  
中山 浩志（東京都生活文化スポーツ局国際スポーツ事業部事業調整担当課長）

会議開催日時	内 容
第1回 12月2日（金）	・過去大会（2009台北・2017サムスン）のプログラムの紹介 ・2025大会のプログラムの方針の確認
第2回 1月25日（木）	・2025大会のプログラムの方針に沿ったカテゴリ校正の確認
第3回 2月27日（火）	・プログラムの内容の検討
第4回 3月28日（木）	・プログラムの内容の検討（とりまとめ）

### 2) 大会に向けたプログラムの方針

- 子どもたちや市民の大会への関心を高め、デフアスリートや大会への応援の気運を醸成することを目的とし、デフスポーツやデフリンピック、手話言語等について理解を深め、障害や多様性、共生社会について考えるきっかけとなる内容とする
- 全国の自治体等で気運醸成事業を実施してもらうため、当該自治体等の負担を軽減できるよう、事業の構成案をまとめたプログラムを作成する
- プログラムの構成
  - ①教育ワークショップ型（学校向け）、②イベントワークショップ型（自治体向け）、③コンテンツ紹介

## プログラムの内容

### ①教育ワークショップ型プログラム

目的：小中学校等で、デフスポーツやデフリンピック、きこえないことや手話言語について学び、東京大会への関心を高めてもらう

実施主体：小学校・中学校

構成：45分～50分を目安に、楽しみながら学べるよう、映像、ワーク、クイズ、ゲーム等で構成する

### ②イベントワークショップ型プログラム

目的：多くの市民が集まるイベントや施設を活用し、デフリンピックやきこえないこと、手話言語、ろう者の文化活動、情報保障機器などを体験し、共生社会の実現につなげる

実施主体：自治体

構成：自治体の既存のイベント等に組み込む形でワークショップの実施や展示ブースで構成する

### ③コンテンツ紹介（運営委員会で検討）

目的：上記①及び②の取り組みを支援するため、講師や素材、情報保障機器・技術等のコンテンツを紹介

構成：カテゴリは「デフスポーツ」「きこえないことや手話言語」「ろう者の社会活動」「展示ブース」

## 2024年度の計画

コンテンツ紹介を作成の上、プログラムをポータルサイト上で公開し、加盟団体やデフスポーツ団体等を通じて小中学校や自治体を実施を促していく

## 4. 報告（5）デフリンピックスクエアについて

### ○経緯

- 昨年11月に作成した開催基本計画において、大会期間中、選手が各種サービスの提供を受けられるとともに、選手同士の交流などができる拠点として、「デフリンピックスクエア」を設置することを公表。

### ○概要

- 選手向けサービス、メディアセンター、宿泊・輸送等の大会の運営に必要となる機能や選手・都民等の交流の場としての機能を設け、デフリンピックスクエアを拠点に誰もが個性を活かし力を発揮できる共生社会の実現につなげていく。

### ○今後のスケジュール

- 6月6日 全日本ろうあ連盟 理事会
- 6月11日 東京都スポーツ文化事業団 理事会
- 6月24日 第8回大会準備連携会議